



平成 14 年 2 月 13 日

高崎市長  
松浦 幸雄 様

社団法人日本建築家協会(JIA) 関東甲信越支部  
支部長 服部 範二  
保存問題委員会委員長 篠田 義男  
JIA 群馬クラブ代表 羽鳥 悟

## 旧井上房一郎邸の購入並びに保存に関する要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴市におかれましては、日頃より本協会の活動に多大なご理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本協会では、平成 11 年 11 月 29 日付けで、「旧井上房一郎邸」と「群馬音楽センター」の保存に関する要望書（別紙資料）を提出させていただきましたが、貴市が市制 100 周年にあたる平成 12 年に、日本の近代建築史に残る建築家、A. レーモンド設計による優れた建築作品を高崎市の文化遺産として認め、両建物を都市景観重要建築物に指定されましたことに、本協会と致しまして改めて深く敬意を表するところです。

さて既にご承知のこととは思いますが、本年 1 月 21 日付の官報によりますと、旧井上房一郎邸は来る 3 月 4 日、公売にかけられるとのこと。旧井上邸はすでに単なる個人所有の建築物としてではなく、高崎市民はもとより国民にとっても貴重な文化遺産として認識されております。今回の公売により民間が取得することになりますと、取り壊し、若しくは改造される可能性が極めて高くなるものと思われまます。

そこで、旧井上邸のかかる危機を救済し、文字通り文化遺産として後世に継承するための基盤づくりのために、是非この建築物を高崎市に購入して頂きたく、ここに改めて要望書を提出する次第です。

尚、社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、並びに同保存問題委員会、そして JIA 群馬クラブとしても出来る限り協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具